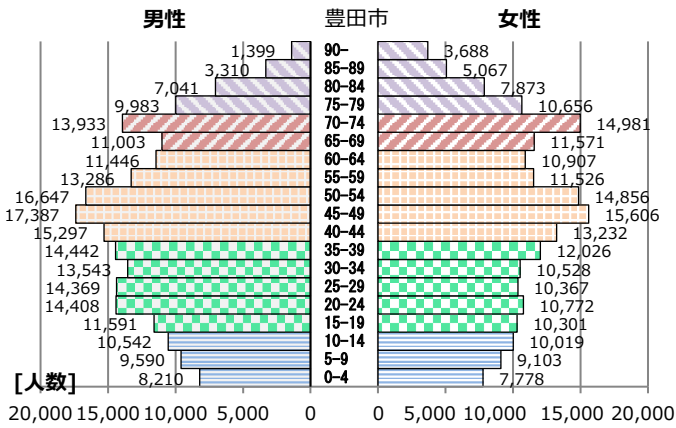


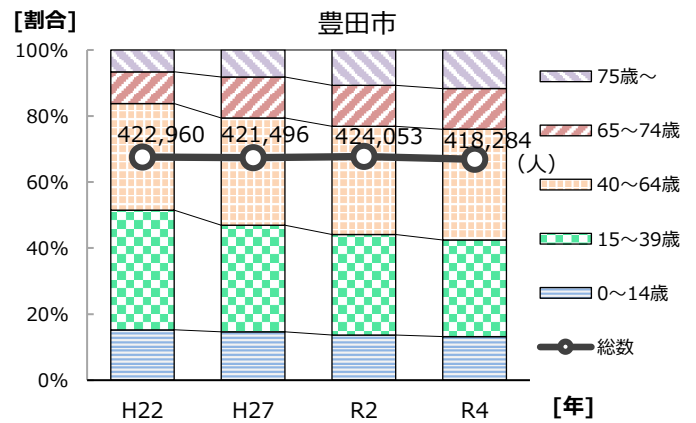
美里中学校区 地域健康カルテ (令和4年度概要版)

● 豊田市の情報 ●

①男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



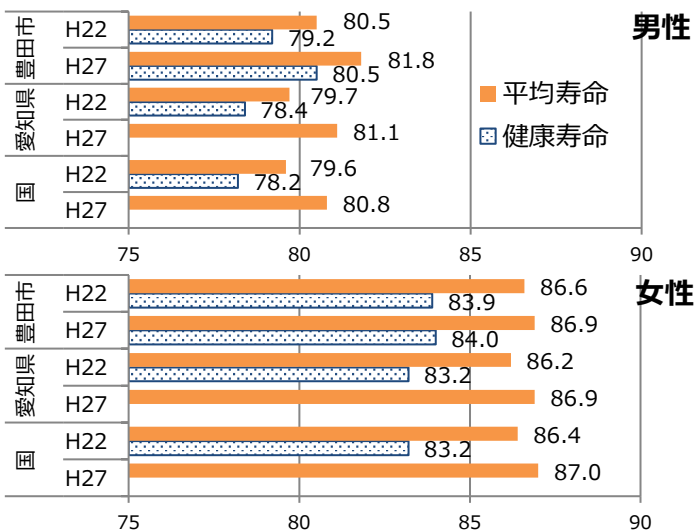
②人口推移 (各年4月1日)



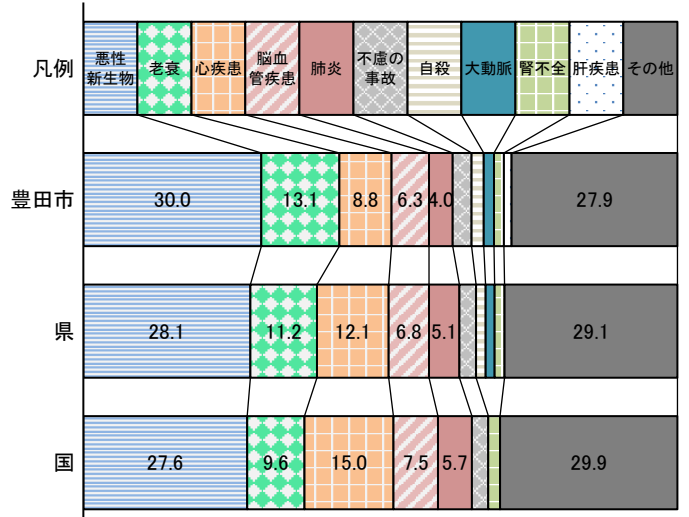
③人口構成 (令和4年4月1日)

・総人口：418,284人 (男性 217,427人、女性 200,857人) ・世帯数：183,262 ・高齢化率：24.0%
 ・要介護認定率：15.4% (令和4年10月1日) ・外国人：17,540人 (ブラジル、ベトナム、中国他)

④平均寿命と健康寿命

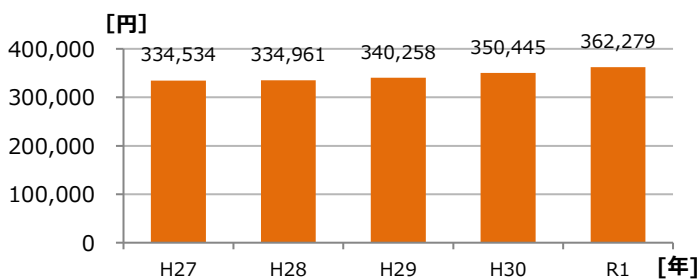


⑤主要死因別順位 (令和2年度)

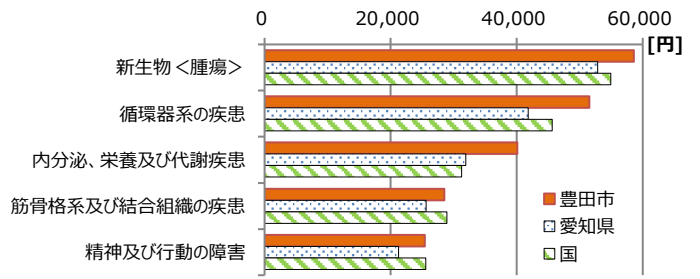


国民健康保険 医療費データ

⑥一人当たり医療費 (豊田市)

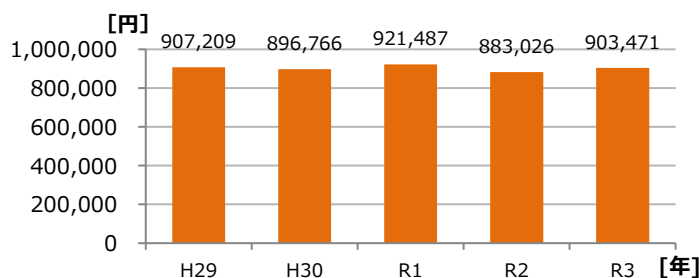


⑦一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

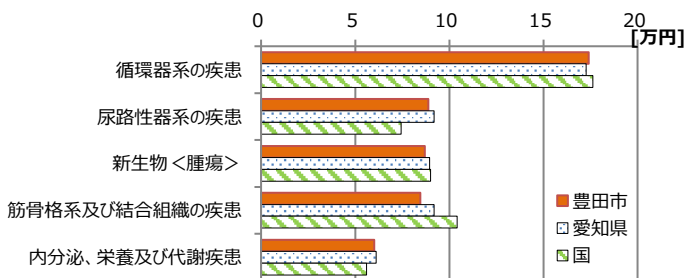


後期高齢者医療制度 医療費データ

⑧一人当たり医療費 (豊田市)

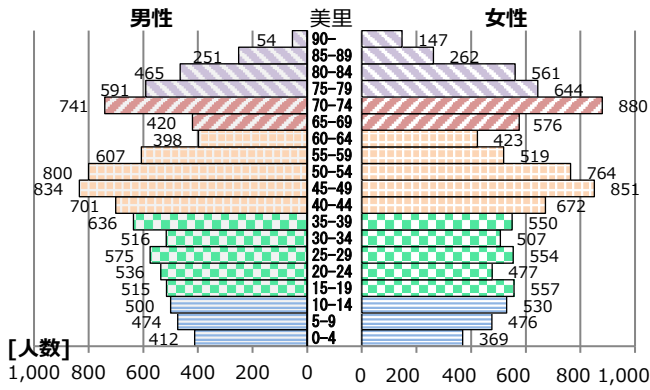


⑨一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

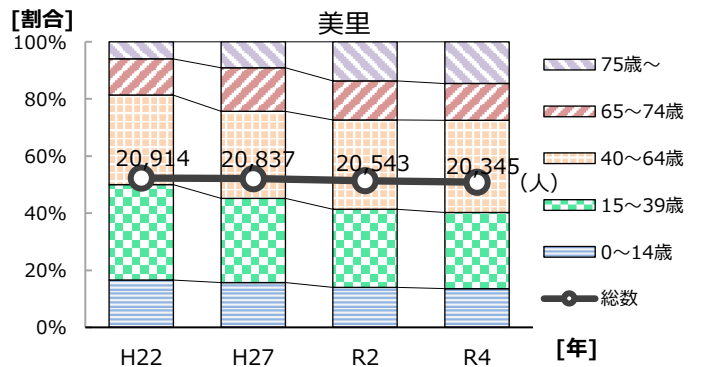


● 美里地区の情報 ●

⑩男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



⑪人口推移 (各年4月1日)



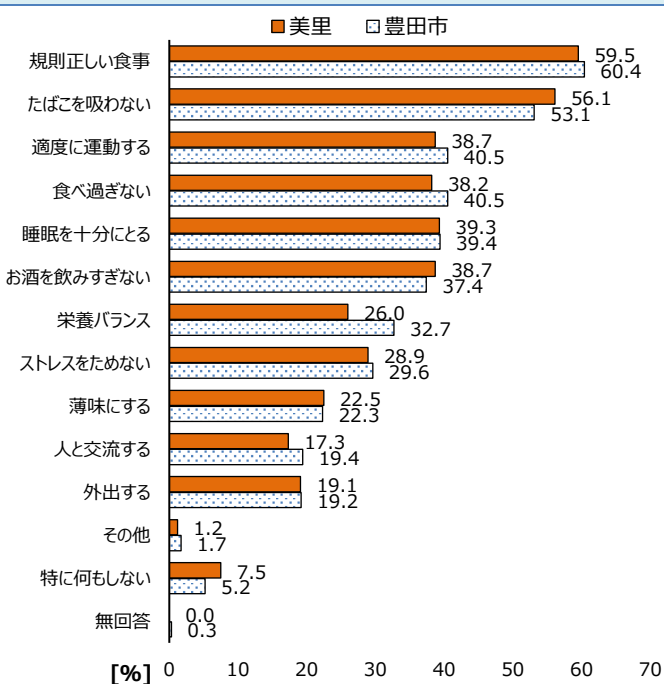
- ・総人口：20,345人 (男性 10,026人、女性 10,319人)
- ・世帯数：8,765
- ・高齢化率：27.5%
- ・要介護認定率：14.6% (令和4年10月1日)
- ・外国人：769人

⑫地域の組織やその活動 ※新型コロナウイルスの影響で、一部中止の事業もあります

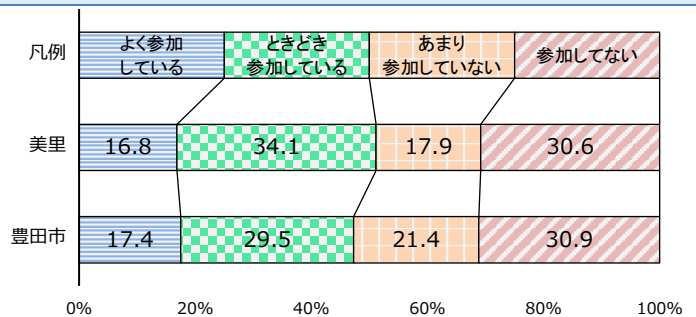
名称	内容等 (令和4年4月)
自治区数	・14自治区
地域課題解決事業	「みさと」の「みんな」で防災力アップ(防災対策)
交流館	・自主グループ46グループ (うち健康・スポーツは11グループ) ・令和3年度から元気アップ教室自主活動グループを開始 (第2・4木曜日)
ヘルスサポートリーダー	・会員数20人 ・元気アップ教室自主グループの活動の定着及び活性化に向けた体制の充実を図っている。 ・令和3年度に油の啓発資料作成
高齢者クラブ	・12クラブ
ふれあいサロン	・8サロン
元気アップ教室自主グループ	・自治区：東山町、広川町、森、御立、野見、第1宝来、第2宝来、神池、美里一区、美里二区、美里三区、美里四区、野見山 ・その他：美里交流館
その他	・平成28年度に地区コミュニティ会議、地域会議、地域保健課が共働により『「みさと」の「みんな」の健康づくり計画』を作成

市民意識調査(令和3年度)

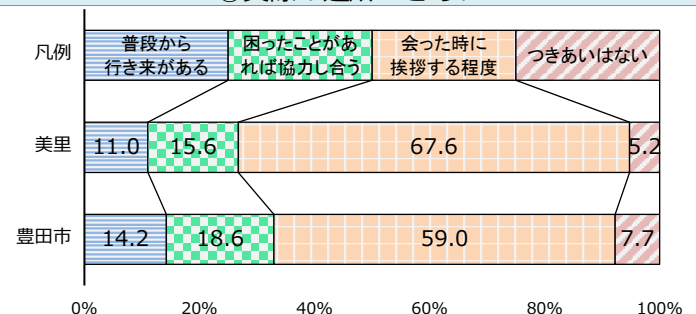
⑬健康づくりの取組内容



⑭自治区・地域活動への参加状況

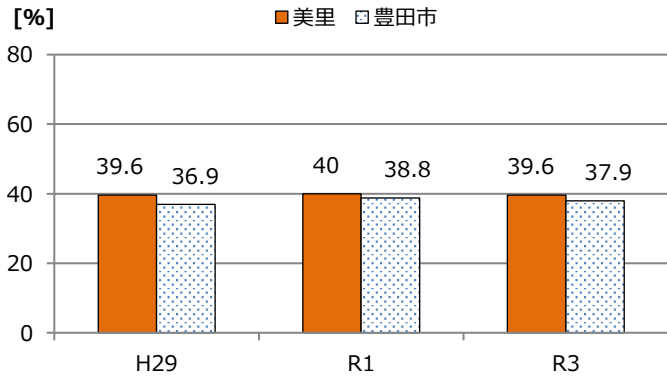


⑮実際の近所づきあい

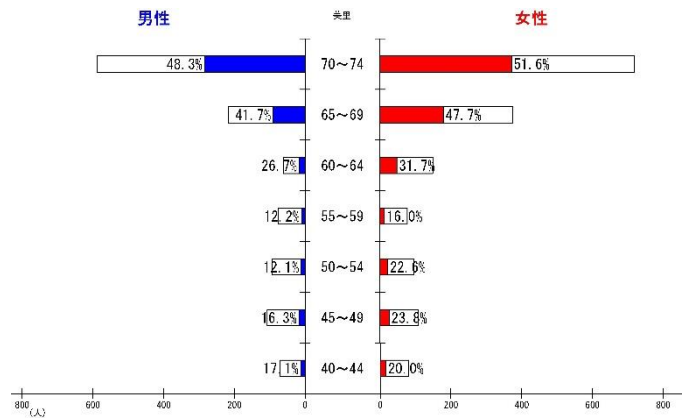


豊田市国民健康保険 特定健康診査(令和3年度)

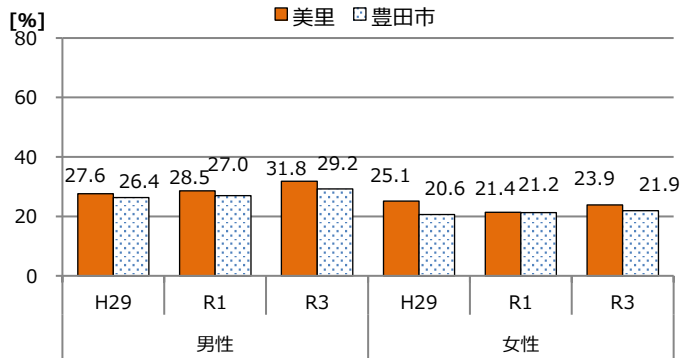
⑯ 健診受診率



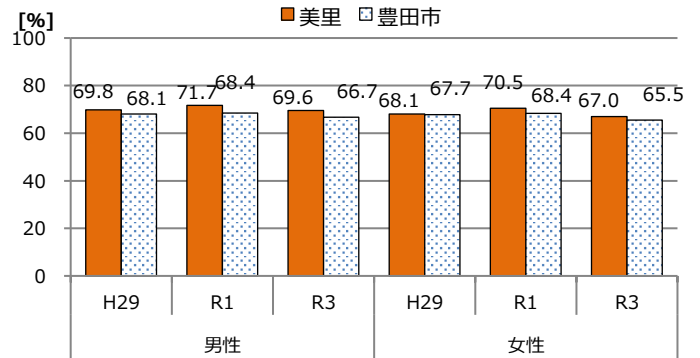
⑰ 年齢別受診者数(対象者数 2,746 人,受診者数 1,088 人)



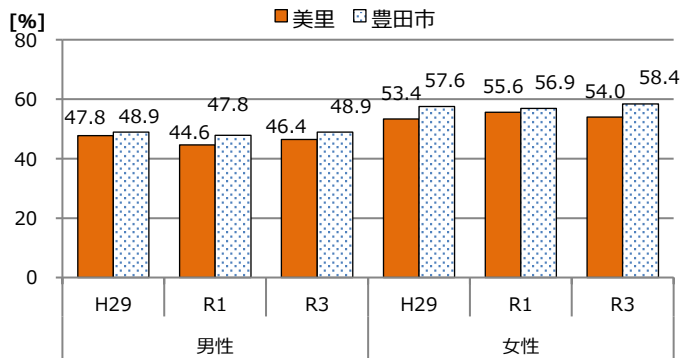
⑱ BMI (25 以上)



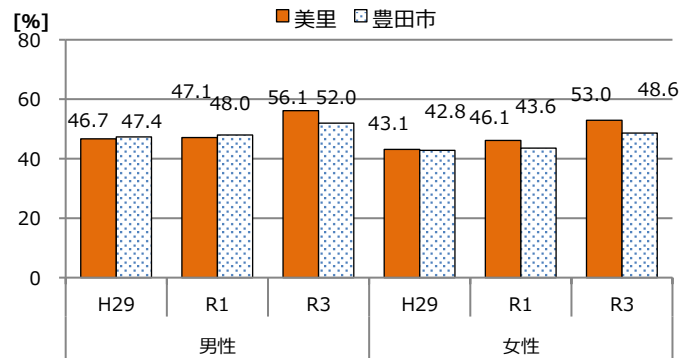
⑲ HbA1c (5.6%以上) *糖尿病の指標の検査項目



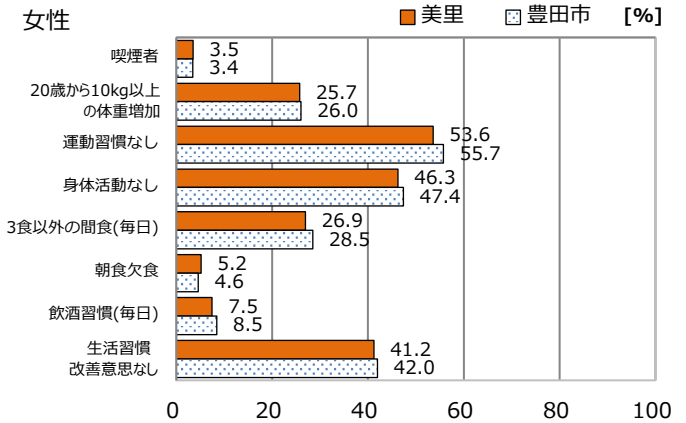
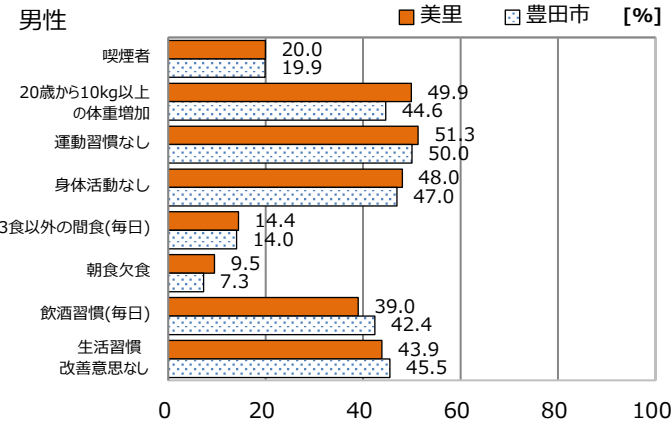
⑳ LDL コレステロール (120mg/dl 以上)



㉑ 収縮期血圧 (130mmHg 以上)



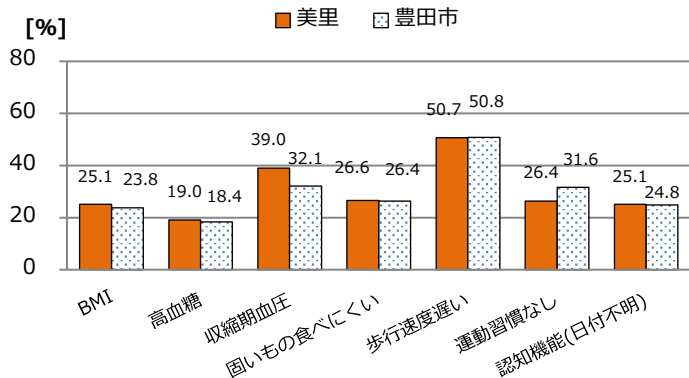
㉒ 問診



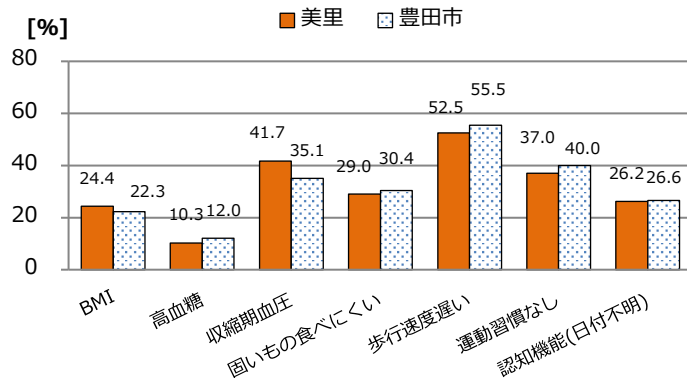
㉓ 国と比較して有意に差がある項目 [年齢調整]

国と比べ高い項目	男性	HbA1c、20歳から10kg以上体重増加、生活習慣改善意思なし
	女性	HbA1c、生活習慣改善意思なし
国と比べ低い項目	男性	-
	女性	運動習慣なし、飲酒習慣(毎日)

㉔男性



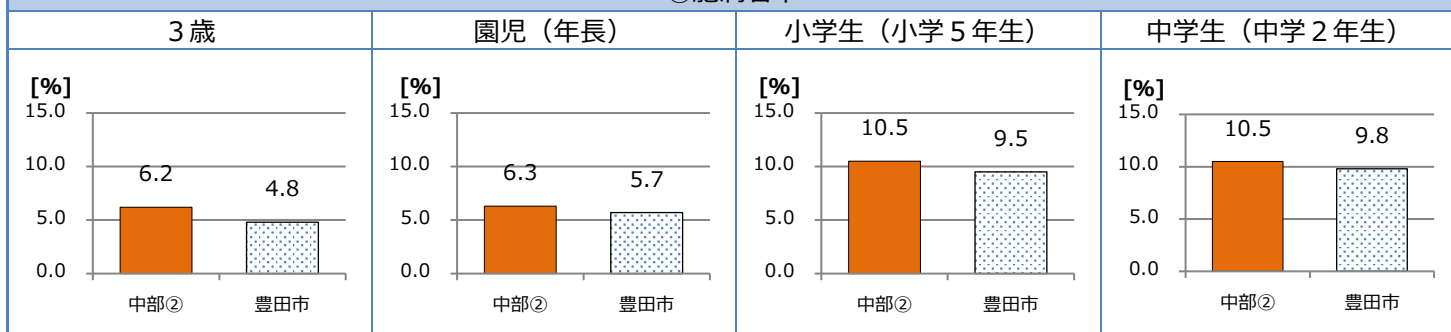
㉕女性



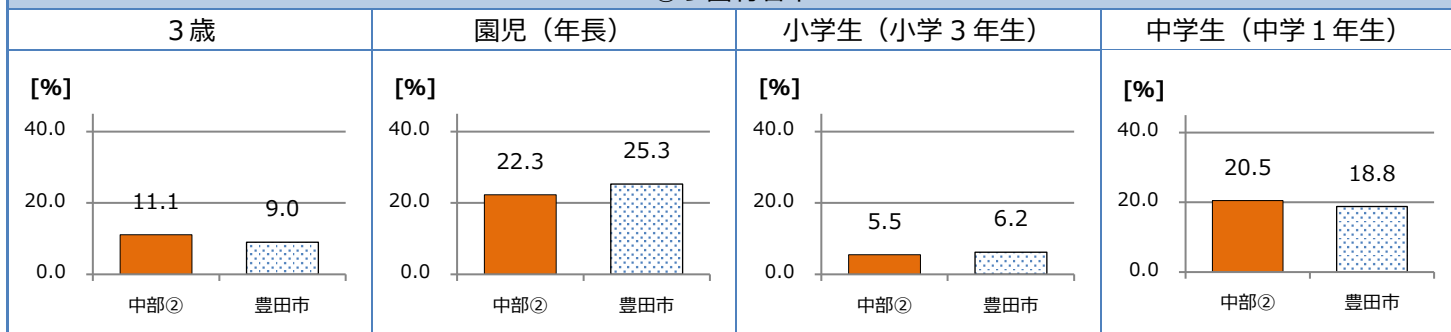
【検査項目の基準】 BMI : 25 以上 高血糖 : HbA1c 6.5%以上 収縮期血圧 : 140mmHg 以上
 【地区の受診者数】 1,129 人(男性 546 人、女性 583 人)

子ども健康診査(令和3年度)
 【中部②】高橋・益富・美里・松平

㉖肥満者率



㉗う歯有者率



データから見る地区の特徴と課題

- ・国民健康保険特定健康診査の受診率は横ばいに経過しており、継続して豊田市より高いため、今後も受診率向上に向けた取組を継続して実施することが必要である。
- ・国民健康保険特定健康診査では、男女ともに健診結果のBMIとHbA1c及び収縮期血圧の該当者割合が市と比べて高い。また、男性の「20歳から10kg以上の体重増加」、「運動習慣なし」、「身体活動なし」、「朝食欠食」の該当者割合は市よりも高いため、適正体重の啓発やバランスの良い食事と運動の習慣化などの生活習慣改善に向けた取組が必要である。
- ・要介護認定率は市より低いが高齢化率は市よりも高い。人口構成をみると70-74歳が高く、今後、後期高齢者の割合増加に伴う要介護認定率の急増が懸念される。元気アップ教室自主グループ活動の充実及び地域のウォーキングやラジオ体操等の取組継続が必要である。
- ・市民意識調査の「健康づくりの取組内容」では、「食べ過ぎない」、「栄養バランス」、「適度に運動する」等の取組が市と比べて低いため、『みさと』の『みんな』の健康づくり計画に基づき、住民の生活習慣に合わせた健康づくりを推進していくことが有効であると考えられる。